



# 主要な農作物の生育情報

平成30年度 第4号

(平成30年7月10日)

福島県農林水産部農業振興課



## 【作物】

### 1 水 稲

7月3日現在の農業総合センターの生育調査によると、本部（郡山）と会津地域研究所（会津坂下）では、平年より草丈は短く、茎数及び主稈葉数は少なく、葉色は濃くなっています。浜地域研究所では、草丈は平年並、茎数は平年より多く、主稈葉数は平年並からやや多く、葉色は淡くなっています。コシヒカリの主稈出葉からみた生育は、本部と会津地域研究所では平年より最大5日の遅れ、浜地域研究所では平年並となっています。一方、浜地域研究所の幼穂形成始期は、ひとめぼれ、天のつぶでは平年より1～3日早くなりました。今後の天候によりますが、本部、会津地域研究所の各品種と浜地域研究所のコシヒカリの幼穂形成始期については平年並と見込まれます。

また、7月上旬に本田にて葉もちが確認されています（病虫害防除所調べ）。

表1 水稲の生育状況（※）

| 調査場所           | 品 種   | 移植期<br>(月.日) | 7月3日調査      |                           |             |                  | 幼穂形<br>成始期<br>(月.日) |
|----------------|-------|--------------|-------------|---------------------------|-------------|------------------|---------------------|
|                |       |              | 草丈<br>(cm)  | 茎数<br>(本/m <sup>2</sup> ) | 主稈葉数<br>(枚) | 葉色<br>(SPAD502値) |                     |
| 本 部            | コシヒカリ | 5.15         | 50.1 (98%)  | 630(91%)                  | 9.7 (-0.1)  | 38.2 (+2.3)      | - (7.20)            |
|                | ひとめぼれ | 5.15         | 47.2 (94%)  | 649(92%)                  | 9.6 (-0.3)  | 39.2 (+1.2)      | - (7.11)            |
|                | 天のつぶ  | 5.15         | 50.7 (96%)  | 595(99%)                  | 9.4 (0.0)   | 41.0 (+0.9)      | - (7.11)            |
| 会津地域<br>研 究 所  | コシヒカリ | 5.21         | 53.1 (93%)  | 683(92%)                  | 9.9 (-0.7)  | 38.5 (+2.0)      | - (7.16)            |
|                | ひとめぼれ | 5.21         | 52.8 (96%)  | 735(93%)                  | 10.2 (-0.3) | 42.6 (+3.2)      | - (7.9)             |
|                | 天のつぶ  | 5.21         | 53.8 (94%)  | 654(91%)                  | 9.6 (-0.4)  | 44.4 (+3.3)      | - (7.11)            |
| 浜 地 域<br>研 究 所 | コシヒカリ | 5.10         | 59.6 (100%) | 753(104%)                 | 10.0 (+0.2) | 35.6 (-1.8)      | - (7.15)            |
|                | ひとめぼれ | 5.10         | 60.9 (103%) | 882(119%)                 | 10.0 (0.0)  | 38.2 (-2.5)      | 7.4(7.7)            |
|                | 天のつぶ  | 5.10         | 59.1 (99%)  | 757(112%)                 | 9.5 (+0.1)  | 40.2 (-2.0)      | 7.6(7.7)            |

※ 調査場所は、本部（郡山）、会津地域研究所（会津坂下）、浜地域研究所（相馬）。

葉色は、SPAD502による測定値。7月3日調査の（ ）内の数字は、前5ヶ年平均値との比較値を示す。幼穂形成始期の（ ）内は平年値を示す。

### 2 大 豆

標播では、小雨傾向のため土壌が乾燥し、出芽の遅れがみられましたが、総じて標播、晩播とも出芽は概ね良好です。他方、降水量の少ない地域では生育の遅れが懸念されます。

表2 大豆の生育状況（※）

| 調 査 場 所 | 品 種   | 播種<br>時期 | 播植期<br>(月.日) | 出芽期<br>(月.日) | 出芽日数<br>(日) |
|---------|-------|----------|--------------|--------------|-------------|
| 本 部     | タチナガハ | 標播       | 5.30 (-1)    | 6.12 (+1)    | 13 (+2)     |
|         |       | 晩播       | 6.19 (±0)    | 6.26 (-1)    | 7 (-1)      |
| 会津地域研究所 | あやこがね | 標播       | 6.1 (+1)     | 6.15 (+7)    | 14 (+6)     |
|         |       | 晩播       | 6.20 (-1)    | 6.25 (-3)    | 5 (-2)      |
| 浜地域研究所  | タチナガハ | 標播       | 6.8 (-3)     | 6.17 (-3)    | 9 (±0)      |
|         |       | 晩播       | 6.25 (+1)    | 7.1 (+1)     | 6 (±0)      |

※ 調査場所は、本部（郡山）、会津地域研究所（会津坂下）、浜地域研究所（相馬）。

( )内の数字は、前5ヶ年平均値との差を示す。

## 【野菜】

### 1 夏秋きゅうり

5月下旬定植の露地栽培の生育は主枝摘心が終了し、収穫は主枝中段から上段となっています。生育は平年並みですが、6月下旬の高温、乾燥の影響で葉焼け等の障害がみられています。病害の発生は少ないものの、アブラムシ類は平年より多く発生しています。

### 2 夏秋トマト

4月中旬定植作型は、1～2段収穫と平年並みで、7～8段花房開花となっています。6月の高温の影響により着色が進んでおり、今後収穫量の増加が見込まれます。

病害は一部ほ場でかいよう病の発生が認められており、害虫はアザミウマ類、コナジラミ類が発生しています。

### 3 さやいんげん

5月下旬定植の露地栽培は、乾燥等の影響により一時生育が停滞しましたが、平年並の6月下旬より収穫が始まりました。6月下旬の高温乾燥により中段の花落ちが発生していましたが、7月上旬の降雨以降は安定した着莢となる見込みです。

### 4 夏秋ピーマン

4月下旬定植のトンネル栽培の収穫は、平年並の6月中旬より始まりました。6月下旬の高温乾燥の影響で、生理障害（尻腐果）の発生がみられています。

## 【果樹】（7月2日現在：農業総合センター果樹研究所）

### 1 もも

暦日比較では、「あかつき」は縦径が49.8mmで平年比106%、側径が46.9mmで平年比104%、「ゆうぞら」は縦径が50.4mmで平年比109%、側径が45.3mmで平年比110%と両品種ともに平年より大きい状況です。また、満開後日数による比較では、「あかつき」は平年より小さく、「ゆうぞら」は平年より大きい状況です。

早生品種の収穫始めは、「はつひめ」が6月29日頃で平年より9日、「日川白鳳」が7月2日頃で平年より14日早くなりました。

DVRモデルによる「あかつき」の収穫予測では、本年の収穫開始は7月24日頃、収穫盛りは7月27日頃で、平年より9日早い見込みです。

### 2 なし

暦日比較では、「幸水」は縦径が39.4mmで平年比125%、横径が45.9mmで平年比124%、「豊水」は縦径が38.9mmで平年比118%、横径が42.2mmで平年比120%と両品種ともに大きい状況です。また、満開後日数による比較では、「幸水」は平年よりやや大きく、「豊水」はほぼ平年並です。

DVRモデルによる「幸水」の収穫予測は、収穫盛期が8月20日（満開後126日）と推測され、平年より11日早い見込みです。

### 3 りんご

暦日比較では、「つがる」は縦径が60.0mmで平年比123%、横径が67.1mmで平年比123%、「ふじ」は縦径が48.8mmで平年比111%、横径が53.2mmで平年比115%と両品種とも平年より大きい状況です。また、満開後日数による比較では、「つがる」は平年より大きく、「ふじ」は平年並です。

## 【花き】

### 1 キク類

7月咲きは、収穫及び出荷について平年よりも1週間程度早い生育となっています。

8月咲きは、6月の降水量が少なかったことから、草丈が平年と比較してやや低いところが多く、高温の影響により発蕾が早まっているものもみられ、開花の前進が予想されます。9月咲きは、定植後に乾燥が続いたことから生育が平年よりも遅れているところが多くなっています。

害虫は、アブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類、オオタバコガ等の発生が増えてきており、病害は、白さび病等の発生は少ない状況です。

## 2 リンドウ

極早生品種は、6月中下旬から出荷が始まり、平年並からやや前進している状況です。

早生～中生品種については、春先の気温が高く萌芽期が早かったことから、草丈、葉数ともに平年を大きく上回っているところが多くなっています。また、高温の影響により開花期の前進が予想されます

病害虫は、葉枯病の発生は少なく、アザミウマ類やハダニ類、リンドウホソハマキの被害が増えています。

### 【飼料作物】

#### 1 牧草

牧草は、5月上旬から1番草の収穫作業が行われ、収量は平年並からやや少なくなりましたが、天候にも恵まれ、品質は良好となりました。現在、2番草の再生期から出穂期にあり、7月中旬から収穫作業が行われる見込みです。

#### 2 飼料用とうもろこし

飼料用とうもろこしは、降水量が少なく、草丈が短いところもありますが、順調に生育しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujoyouhou>